

製品一覧



製品コード	内容	容量 (混合時)	施工可能台数
テイトPFR-250	クリアーA液/B液	500cc	乗用車 約1台分
テイトPFR-500	クリアーA液/B液	1000cc	軽自動車 約2台分以上
テイトPFR-1000	クリアーA液/B液	2000cc	トラックなど大型車
テイトPFR-4000	クリアーA液/B液	8000cc	複数台の施工可能
テイトPFR-MRC	鉄粉反応剤	4000cc	チオグリコール酸アンモニウム
テイトPFR-M05	錆改質剤	500cc	ポリリン酸ナトリウム

2020年5月現在 / 材料価格の変動や製品改良などの為、価格・仕様が変わる事がありますので予めご了承下さい

刷毛やローラー、スプレーガンなど施工道具についても取り扱っておりますので、お問合せ下さい

ARP試験結果

試験項目	試験結果	試験方法
光沢度	78%以上	JIS5600-4-7 (60鏡面光沢度)
鉛筆硬度	HB~3H	JIS5600-5-4 (鉛筆引っかき傷)
耐水性	異常なし	JIS5600-6-2 (耐水性・30日)
耐沸騰水性	異常なし	JIS5400-8-20 (耐沸騰水性)
耐アルカリ性 (炭酸ナトリウム)	異常なし	JIS5400-6-1 (耐アルカリ性：24Hr)
耐酸性 (5%硫酸)	異常なし	JIS5600-6-1 (耐酸性：24Hr)
耐屈曲性試験	直径4mm以上	JIS5600-5-1 (円筒型マンドレル法)
透水性	0ml	JIS A1404 11 (透水試験)
中性化深さ	0mm	30℃・65%RH・CO10%：1ヶ月
温冷繰り返し作用に対する抵抗性	異常なし	JIS A6909 7.11
促進耐候性	異常なし	スーパーUVテスターW型：1400時間
防火性	不燃性	建設省告示 第1828号 表面試験
防汚性	I II種合格	土木用防汚染材料評価促進試験法

建築基準法施行第20条の5 溶出試験 0.08mm/ℓ



不燃性です。



屈曲性があります。

テイトPFRの保管・管理について

テイトPFRは、混合しなければ密閉状態で6か月の保存性があり保管については、20℃以下の冷暗所にて保管してください

- ◆作業可能時間：20℃/～4時間 ◆水・シンナーなどでの希釈は一切できません
- ◆気温が低い時は、塗料容器（使用分）を湯煎で暖めると効果的です
- ◆本液は、空気中の湿気と反応硬化するので使用量だけを混合して随時蓋をするなどの必要があります。

お問い合わせ



テイトPFR 【Protect for Rust】とは…

今までの防錆作業と言え、専用の作業スペースで防護服に身を包みながらの作業でした。有機臭もあり換気設備も必要で作業スペースも作業も黒く汚れる過酷な作業でした…無機無溶剤のテイトPFRは、大きな設備も必要なくても本格的な防錆作業ができる画期的な防錆塗料なのです。



水性塗料・油性 & 溶剤塗料とタイトPFRの違いについて

タイトPFRは、完全無機質の被膜が形成されるので紫外線による劣化がなく永く守る事ができます。また揮発性有機化合物を一切含まないので、作業者にやさしく健康を害しません。また無臭なので周囲に飛散しても問題ありません。

	水性塗料	溶剤系塗料	タイトPFR
主成分	顔料・樹脂・水・有機溶剤	顔料・樹脂・有機溶剤	顔料・樹脂
コスト	低単価	高単価	高単価
耐久性	製品によって異なる	高い	非常に高い
臭気	低臭	悪臭	無臭
密着性	溶剤系と比較して弱い	強い	非常に強い
乾燥 ※気温20℃	3時間	1時間	6時間
作業設備	設備必要	排気ダクト等 設備必要	特に必要なし
VOC排出量 塗装1㎡当り	16g	340g	0g

幅広いニーズの開拓で新しい収益の柱に応えます！

タイトPFRは、自動車の下回り防錆だけでなく、バイク・トラックの荷台・重機・建機・ボートはもちろん、リフト・フレーム修正機など工場設備、自動販売機など錆びるものには何でも塗る事ができます。 ※高温になる部分への施工は避けて下さい。



特許取得製品です。

タイトPFRの原体塗料は、日本とアメリカで特許を取得しており、世界中の様々な橋脚や鉄塔、国立公園などで施工されています。日本特許第3263331号 米国特許US PATNo.5292799



硬化後は無色の高密着型のゴム状シリコンに！

硬化後は柔軟性と弾力性があるためハネ石や微動部位にも強く、撥水性なので水分をシャットアウトするために錆の進行を止めます。落とすきれいな錆に上塗りができます。塗布後は、無色なので塗布部が黒くマイナス査定になりません



VOCフリーの環境仕様です！

【タイトPFR】は、無臭でVOCを一切含有しないので今までの防錆作業の様な防護服や設備、作業環境を場所を選ばずに施工が可能です。撥油・撥水性塗料で、洗車後の水残りがなく高温多湿、酸化に強いため塩害環境での劣化が起こりにくいです。



旧車レストア・サンデーメカニックの方も楽しめます。

【タイトPFR】は、スプレーガンはもちろん、刷毛、ローラーで塗布ができるので支柱リフトがなくても、ジャッキスタンドで塗布作業ができます。また、無色透明なのでトラックの荷台や商用車など様々な部分の錆止めを提案できます。



タイトPFR作業工程

1、作業準備

タイトPFRは、無機無溶剤ですが、作業にあたっては作業場の養生とマスク・手袋・ゴーグルの着用を願います。

クルマのジャッキアップしての作業は、大変危険ですので安全を十分確保して作業を行うようにしてください。

2、洗浄・脱脂クリーニング

泥汚れ等はしっかり洗浄し、落としさびをエアブローなどで掃除し、脱脂クリーナーなどで油分を落とし乾燥させます。

3、素地調整・さび落とし

ワイヤーブラシやさび取用スポンジである程度落とします。錆がひどい場合は、錆転換剤をおすすめします。タイトPFRは塩分や水分をシャットアウトし、さびの進行を止めるので完全に落とす事はありません。

4、マスキング

作業を効率よくするためにジャッキアップし、タイヤを外します。電気系統接続部やブレーキ周り、駆動部などはマスキングします。

5、A液とB液を混合して攪拌する

部分的であれば、タイトPFRを使う分だけを計量カップに50：50の割合でしっかり攪拌させます。 ※この時の攪拌が不十分だと硬化されませんので2分以上しっかり攪拌してください。

6、塗布作業

基本的に刷毛やローラーで塗布します。塗布量が多いと垂れた状態で硬化するので薄めに塗り重ねていくと良いです。

スプレーガンを使用する場合は、口径1.3mm以上をおすすめします。

1回目は薄吹きで全体を馴染ませます。この時に垂れやはじいている部分を見ます。→ 約20分ほど待って2回目仕上げ吹きを行います。スプレーガン吹きは塗料が拡散するので、車体や周囲の養生をしっかりと行ってください。

※タイトPFRは、攪拌後1時間ほどで硬化が徐々に始まりますので、素早く作業を進めて下さい。

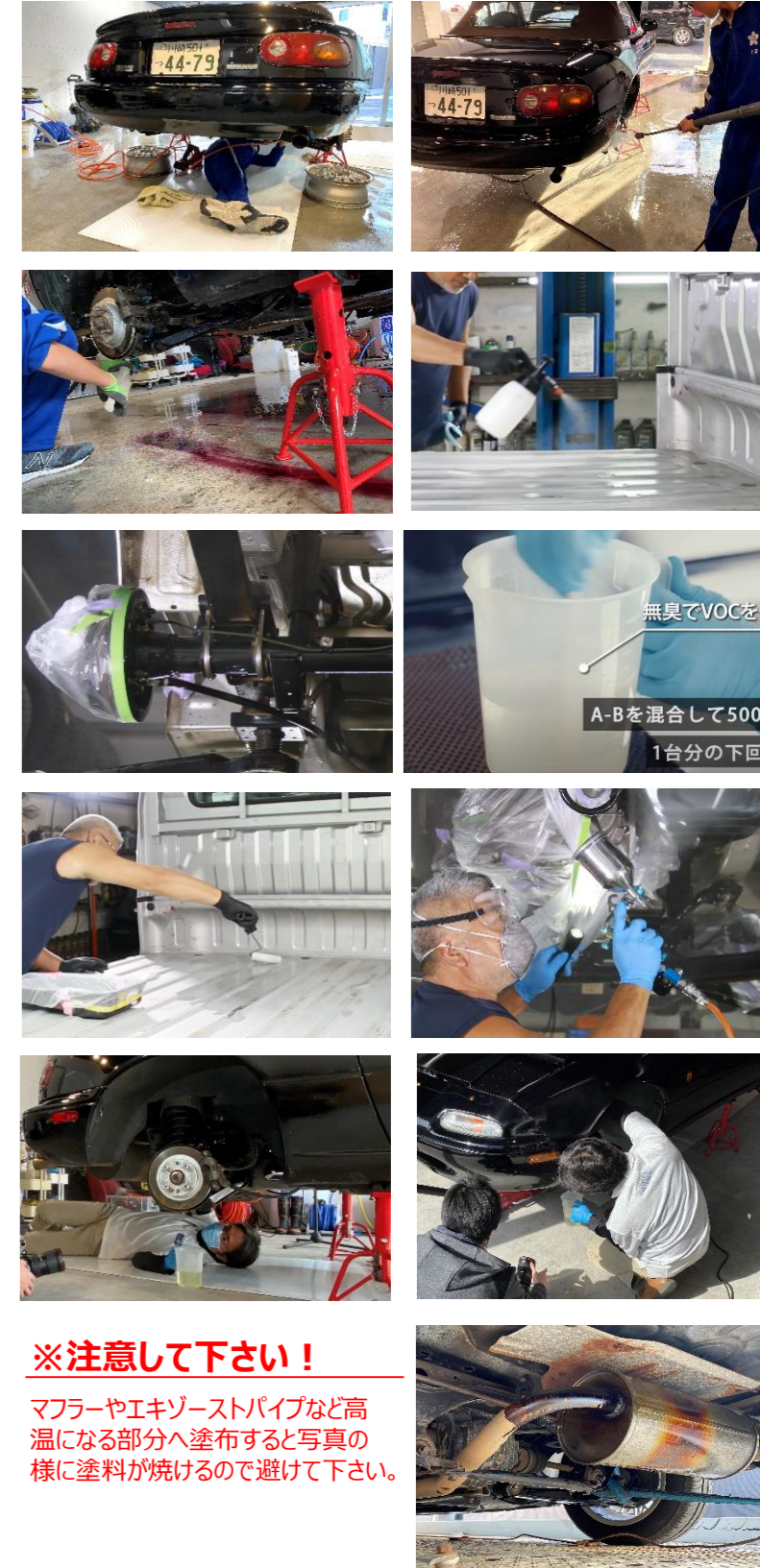
7、硬化→完成

完全硬化6時間以上（20℃）での乾燥 強制乾燥は、40℃で2時間までの範囲で行って下さい。

タイトPFR参考施工価格

塗布作業は、乗用車であれば～3時間以内で塗れますが、洗浄 & 錆除去などを作業がある場合は1日預かりでの作業が理想です。また半年～1年後のメンテナンス入庫も効果的です。

◆軽自動車 4万円～ ◆乗用車 8万円～ ※出張作業や大型トラックの作業は別途になります。



※注意して下さい！

マフラーやエキゾーストパイプなど高温になる部分へ塗布すると写真の様に塗料が焼けるので避けて下さい。



←ユーノスロードスターの下回り防錆作業を行っているYoutube動画を ご覧頂けます。

<https://www.youtube.com/watch?v=AQ9th-Swwb4>